

蘇れ海の幸 日本の資源管理最前線 不安と向き合い前進へ



2

【不安の魚を「選べぬ漁法」で管理できるか】漁業管理で水産資源を増やそうとする場合、壁となるのが多くの魚を一緒に獲る「多魚種漁業」。ある魚種を守ろうと言っても、漁業者からすれば「どいつしてもその魚が獲れてしまう」とはある。かといって漁に出ないわけにもいかない」と困ってしまつことも。ただ、そんな中で工夫を重ねる漁業者はいる。

対象選べぬ漁法にも工夫

小魚逃がす放流や網目拡大

【不安の魚を「選べぬ漁法」で管理できるか】に画期的な取り組みを進めている。大型漁船を導入し、漁船の中に作業スペースを確保。帰港前に魚を選別し、神経締めや活魚水槽への取り込みなど魚種ごとに価値を引き出すための処理をする。

【不安の魚を「選べぬ漁法」で管理できるか】に画期的な取り組みを進めている。大型漁船を導入し、漁船の中に作業スペースを確保。帰港前に魚を選別し、神経締めや活魚水槽への取り込みなど魚種ごとに価値を引き出すための処理をする。

【不安の魚を「選べぬ漁法」で管理できるか】に画期的な取り組みを進めている。大型漁船を導入し、漁船の中に作業スペースを確保。帰港前に魚を選別し、神経締めや活魚水槽への取り込みなど魚種ごとに価値を引き出すための処理をする。

小さな魚を再放流
三重と静岡の定置
三重県尾鷲市の早田大敷（定置網）では、31歳



船上で魚を仕分ける早田大敷の船員ら



定置網からブリを放流する作業（早田大敷提供）

できない駄目な漁法」と度予想可能。将来は、特

【不安の魚を「選べぬ漁法」で管理できるか】に画期的な取り組みを進めている。大型漁船を導入し、漁船の中に作業スペースを確保。帰港前に魚を選別し、神経締めや活魚水槽への取り込みなど魚種ごとに価値を引き出すための処理をする。

【不安の魚を「選べぬ漁法」で管理できるか】に画期的な取り組みを進めている。大型漁船を導入し、漁船の中に作業スペースを確保。帰港前に魚を選別し、神経締めや活魚水槽への取り込みなど魚種ごとに価値を引き出すための処理をする。

【不安の魚を「選べぬ漁法」で管理できるか】に画期的な取り組みを進めている。大型漁船を導入し、漁船の中に作業スペースを確保。帰港前に魚を選別し、神経締めや活魚水槽への取り込みなど魚種ごとに価値を引き出すための処理をする。

